



岩江中だより

第 11 号

発行日:平成27年 6月17日

発行:三春町立岩江中学校

電話:0247-62-8290

FAX:0247-62-8380

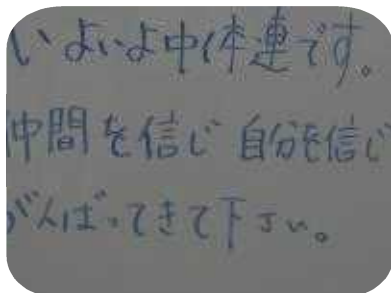
E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【県中大会終了！～かけがえのない学びを胸に、岩江中学校の総合大会を終えました。～】

特に3年生にとって、これまでの練習の成果が試される田村支部中体連総合大会。大会前の放課後、校舎を巡視していると、3年生の教室のホワイトボードに寄せ書きが書いてありました。昇降口のホワイトボードにも、「…仲間を信じ、自分を信じ…」と書いてありました。それぞれの部活動の集大成の大会。1日目には全ての会場を見て回りました。そこにはまさにドラマがありました。みんなよくがんばっていました。

そして、6月16日は県中大会。本校からは卓球部が出場。田村市総合体育館での大会でした。田村代表として、一生懸命試合してくれていました。みなさんのがんばりをいつも見てくれた生徒昇降口の校章は、これからもみなさんのさまざまながんばりを見つめていてくれます。これからも、『私にはこれがある』というものをできるだけたくさん見つけられるよう、さまざまな活動に一生懸命取り組んでいってください。選手、顧問のみなさん、お疲れ様でした。



【人権の花が届きました！ ～きれいな花を見て、人の心に思いをはせよう！～】

先日学校だよりで、2年生の校庭側ベランダがとてもきれいになったというお話をお伝えいたしました。さらに、枯れ葉のたまっていた1階から2階階段の踊り場もご覧のとおり。ほこりやちりの一つもない状況になっていました。

折から、人権擁護委員のみなさんの軽トラックに載せられて、『人権の花』が学校に届きました。花が咲いているもの、つぼみや葉だけのものとさまざまでしたが、美しい花を見るにつけ、人の心も、人と人との心の交流もかくありたいと感じました。花の苗は子どもたちの手でプランターに植え替えられ、子どもたちの通学路を飾っています。

学びの環境づくりに一役買った人権の花、そして、きれいに掃き清められた美しい校舎、いつも心に美しい花を咲かせ生活していければと思います。



【今も時計は登下校を見守ってくれています。 ～静かに、確かに、時は流れ！～】

木々の葉っぱが勢いよく茂っています。その葉っぱの上から首を伸ばすようにして、いつものドラえもん型時計が子どもたちに時間を教えてくれています。

傍らにはツツジの花が満開に咲き、花が散った桜の木の枝には、佐藤錦よりずっと小さな堅いサクランボが実をつけていました。

慌ただしい学校生活の中、時計は自らの確かな仕事を黙々とこなし、いつの間にか木々はその生長を花びらや実で表現しようとしていました。

ふと立ち止まって、自らのこれまでの歩みを振り返り、新たな目標をもつのにいい時期なのでしょう。もうすぐ学校では、高校説明会、高校体験入学、職場体験、学習旅行と、いろいろな行事が実施されます。今までの学びを土台に、さらに中身の濃い学習ができればと強く思います。



【教育実習終了！ ～一緒に教員として仕事できる日を心待ちにしています。～】

6月初・中旬にかけ、岩江中学校には3名の教育実習生が、将来の教員をめざして、教育実習に励んでいました。2名は3週間、1名は4週間の長きにわたり、短学活、授業、部活動、行事とさまざまな教員としての活動に取り組んでくれました。

授業前には、夜遅くまで指導教員と一緒に教材研究などの授業の計画を練り、疲れたのでしょう。机に伏してぐったりしている姿も見られました。しかし、そこは若さです。お別れには感動の涙を流し、子どもたちと別れを惜しむ姿も見られました。お世話になりました。

